

学校環境の整備（不登校対策事業、小中学校施設補修整備事業）

アナ： 「市長が語る 2024 三島」第11回の今日は、「学校環境の整備」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 小中学生の不登校対策の一つとして、校内支援室が設置されていると聞きましたが、設置の状況について教えてください。

市長： はい。三島市では、中学校において、登校はできるものの、教室まで足が向かない生徒の居場所として校内支援室を設置しております。

令和5年度に3校、令和6年度にも3校設置し、現在、市内中学校6校に設置が完了しております。

アナ： なるほど、年々設置が進められているんですね。

ところで、校内支援室では、どのような支援を行っているのでしょうか。

市長： はい。校内支援室は、生徒一人一人が心を落ち着かせて過ごせる居場所でございまして、指導員を配置し、じっくりと話を聞いたり、一緒に学習をしたりと、利用する生徒それぞれのニーズに寄り添った指導や支援を行っております。また、そのようなサポートを通じて、不登校を未然に防止することにもつなげてまいりたいと考えております。

アナ： それぞれの生徒さんに寄り添った支援ということで、学習面での支援はもちろんですが、柔軟な対応が求められることもあるかと思います。

校内支援室での過ごし方というのは、どのようなものなのでしょう。

市長： はい。学習面では、指導員は教員免許を持っておりますので、生徒が自主的に学習をする中で、わからないことがあれば支援するということが主になります。

ですが、なかなか自主的な学習に気持ちが向かないこともありますので、教室で行う授業にオンラインで参加する、あるいは、読書をする、ときには、指導員とコミュニケーションを取りながら切り絵を制作したり絵をかくなど、その日の過ごし方を自分で決めてもらっています。

そして、それぞれが決めた過ごし方に寄り添ったサポートをしていくことが生徒が安心して過ごせる居場所づくりにつながり、ひいては、不登校となることを防いでいくと考えております。

アナ： このような支援室が学校にあり、また、指導員が常にいることで、生徒さんにとっても保護者の皆様にとっても学校が安心な場所となりますね。

ところで、子ども達が安心して学校で過ごすためには、老朽化が進む校舎の改修はとても重要ですが、今年度は主にどのような改修を予定されていますか。

市長： はい。今年度は、錦田中学校の南校舎、北上小学校の校舎と体育館、西小学校の体育館について、長寿命化改修工事を実施いたします。

錦田中学校と北上小学校については、老朽化の程度により、外壁や屋上防水工事、内装やライフラインの改修などを行います。

西小学校の体育館については、外壁や屋上改修に加えて、床の改修と体育館トイレの改修を実施する予定です。

アナ： 校舎をより長く安全に使えるようにするためには欠かせない工事ですね。

その他に行う改修がございましたら教えてください。

市長： はい。錦田中学校と北上小学校については、LED 照明への切り替えやエレベータの設置といったバリアフリー化も行うほか、普通教室には設置済ですので、特別教室棟にある美術室や図工室などの特別教室にエアコンを設置いたします。

アナ： 近年の夏は、特に厳しい暑さが続いておりますので、エアコンの必要性も益々高まっているように感じます。

市長： そのとおりです。そのため、エアコンにつきましては、先ほど申し上げたもの以外にも、南中学校音楽室のエアコンを更新するほか、中学校の特別教室などのエアコン設置可能性調査を実施し、導入方針や概算費用など設置に必要な調査を実施いたします。

アナ： 子どもたちが安心して学校生活を過ごせる環境づくりのために、今年度もさまざまな事業を予定しているんですね。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。